

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

抗MAG抗体陽性ニューロパチーの筋電図所見に関する研究

1. 研究の対象

2000年4月1日から2025年4月30日までの間に当院に抗MAG抗体陽性ニューロパチー、典型的CIDP (chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy、慢性炎症性脱髄性多発神経炎) の診断で通院歴のある方。

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日 まで

25 821

3. 研究目的・方法

抗MAG抗体陽性ニューロパチーの筋電図所見について解明することを目的とした研究を実施します。

抗MAG抗体陽性ニューロパチーは、緩徐進行性の感覚障害、運動障害を呈する末梢神経疾患です。血液疾患を背景に発症するため、血液腫瘍内科と合同での診断、治療が必要です。抗MAG抗体陽性ニューロパチーはCIDP類似の四肢のしびれの症状や筋電図所見があり、血液検査でIgM型のM蛋白が陽性である事からMAG抗体を測定するに至り診断されますが、病初期にはM蛋白陰性の報告もあり、CIDPとの区別が困難な場合があります。本疾患の早期診断を目的に研究者が診療情報をもとに筋電図所見に関する分析を行い、典型的なCIDPの筋電図所見と比較検討し、その特徴を抽出し、今後の診断に貢献することを目指します。この研究に使用する情報として、診療情報から項

目 4 に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査結果（M 蛋白、抗 MAG 抗体）、筋電図所見を抗 MAG 抗体陽性ニューロパチーと典型的 CIDP とで比較します。

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5201）

研究責任者 脳神経内科 永田栄一郎

問い合わせ担当者 脳神経内科 川村玲衣奈